

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七

闘う反対同盟の唯一の代表

鈴木幸司候補の必勝を乞ふ

決戦の芝山町議選がスタート (投票日) 2月11日

二月四日の「告示」をもって、いよいよ開始された注目の芝山町議選は、二月十一日の「投票日」をめざして、まっしぐらの決戦に入りました。

第二次中曽根内閣が、細田運輸相、水野建設相、山村農水相、浜田建設委員長をつぎこんだ露骨な二期突撃体制をしき、また県知事・沼田を先頭に地元自治体・反動派・利権屋どもを総動員して「二期促進」の号令をかけている真只中で闘われているこの芝山町議選こそ、「二期」をめぐる最も鋭い対決点となっています。すでに芝山町のすみずみにまでかけめぐっている鈴木候補の、「空港絶対反対・二期阻止」「公団の下請機関と化す」真行寺町政との対決」を訴える堂々たる主張は、並みいる反動派・空港推進派、十八年の空港反対闘争を裏切り逃亡した一部脱落派を追いつめ、町民の間に大きな共感をよびおこしています。

4日 必勝の熱気たぎらせ出陣式

二月四日、芝山町菱田の鈴木幸司候補の自宅に設けられた選挙事務所前において、寒さをふきとばす熱気あふれる「出陣式」がおこなわれました。

午前十時、選対事務局長の萩原勇一さんの司会ではじめられた「出陣式」には、全戸動員で集まった反対同盟はじめ支援にかけつけた三六〇余名が集まり、選対委員長の平山賢さんが「鈴



元気に出発！ 勝利しよう。

木候補勝利をもって二期阻止の突破口にしよう」と檄をとばしました。

反対同盟・北原事務局長は、「鈴木候補は十八年の三里塚闘争を先頭で闘ってきた人だ。この選挙は単に芝山町民のための選挙というにとどまらず、戦争の道へつき進んでいる中曽根体制に対決する大きな闘いだ。二期阻止の闘魂をかたむけて何としても勝利しよう」と訴えました。

はるばる沖縄、関西よりかけつけた古波津さん、永井さん、加辺さん、山本さん、中島さん、そして、東京実行委の長谷川さん（杉並区議）が「必ず勝とう」と激励しました。勤労千葉からは、関川顧問をはじめ水野副委員長、

空港絶対反対・二期工事阻止

●4倍の騒音と過疎、乱開発の二期着工を許さない

空港絶対反対・二期工事阻止こそが芝山町の生きる道です。滑走路一本の今でさえ、空港は多くの町民を苦しめているではありませんか。私は、一部の人々が利権めあてに動かす町政が許せません。町民の願いを一身に背負って町議会で闘う覚悟です。ふるさと芝山を守るため生涯をかけて働く覚悟です。

鈴木幸司



必勝を祈念して全員で乾杯！（2月4日、出陣式）

片岡執行委員、新藤副青年部長が参加し、中江船橋市議が「...、義をかけて勝ちぬこう」と共に闘う決意をのべました。

空港絶対反対こそ芝山町の生きる道

|| 鈴木候補、力強く第一声 ||

つづいて全員の拍手と歓声に迎えられて、出陣のいでたちもりしく元気がいっぱい鈴木候補が決意表明にたちました。鈴木候補は、二期工事の着工を許すことは芝山町全域がさまざまな騒音と利権あさりの中で農業も生活も破壊されること、そして住民の口をふさぐ政治は必ず戦争にゆきつくことを指摘し、「空港反対・二期阻止こそが芝山町の生きる道」「反対同盟十八年の大義をつらぬき、この選挙に必ず勝ちます」と決意をのべ、全体の拍手と激励がこれをつつみしました。

このあと、宮本嘉さんの団結ガンバローをうけ、三浦五郎さんの音頭で全員の乾杯がおこなわれ、鈴木候補は拍手と声援をうけながら力強く大きく手をふって、第一日目の宣伝行動に出発していきました。

何が何でも鈴木候補の当選をかちとり、三・二五集会への根こそぎ動員を実現し、二期着工を阻止しよう。